

# 第 26 期（令和 4 年度）

## 事業計画

（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）

### 1. 経営方針

#### 1) 基本方針

- ①全ての来訪者から愛される日本一の日帰り温泉施設を目指します。
- ②来訪者の安全と快適性を最優先し、清潔で明るい温泉施設として、質の高いサービスと、心身の癒しが体感できる施設を目指します。
- ③川根温泉が地域の核となり、地域の行事やボランティア活動に積極的に関わりをもち、地域貢献を目指します。
- ④温泉の魅力を活用するための調査研究及び啓発活動を行い、誘客事業につなげていきます。

#### 2) 行動指針

- ①安全な場所、やすらぎを感じる空間を作り出すために安全を最優先します。
- ②相手の立場にたった、親しみやすく、心を込めたおもてなしをします。
- ③旺盛な探究心、好奇心を持ち、創意工夫を心がけます。

### 2. 事業活動方針

#### 1) 事業展開のビジョン

川根温泉ふれあいの泉は平成 10 年の開館以来、健全な運営を行ってきましたが、令和 2 年 2 月の改修工事による休業をはじめ、それに続くコロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等の発令による休業や時短営業のため入館者が激減し、2 年続けての赤字決算となっています。

常連客の高齢化、川根地区人口の減少、類似施設の台頭によって、入館者の減少が進む中、コロナ禍が一層の拍車をかけた状況となっています。

これまで、島田市との間で締結している「川根温泉の管理運営に関する協定書」により、年間経常利益の 80%の額を島田市に納付してきたこともあって、不測の事態に対応するための内部留保資金の蓄えもなく、経営状況が逼迫しています。

加えて、施設の老朽化が顕著となり、とりわけバード棟の躯体が劣化度調査によって、倒壊の恐れがある D 判定を受けたことから令和 3 年 8 月 25 日から営業休止となっています。

島田市からは、令和 3 年度に引き続いて、令和 4 年度も当面休止期間が続くため、休業補償給付金が予算計上されていますが、会社存続のため、さらなる経営改善策を講じていく必要があります。

このような状況の中、まず手掛ければならないことは運営組織の見直し、再編であると考えています。これまでの 3 年間、「豊かな時代」に作られた各種制度や運営体制を見直してきましたが、来館者数の増減が経営に直結する経営形態においては、人件費の削減も含む抜本的な改革をせざるを得ないと考えています。

島田市が策定している「島田市観光戦略プラン（計画期間：令和 3 年 1 月～令和 8 年 3 月）」において、地域資源の活用可能性を踏まえた 4 つの「拠点エリア」の一つに「川根温泉周辺エリア」が位置付けられていることから市や周辺観光施設等との一層の連携を深めて、「観光で稼ぐ地域」の実現の一翼を担うよう従業員一同取り組んでまいりたいと考えています。

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えながら、川根温泉建設の原点である「健康増進」「地域振興」「交流促進」を進め、「日本一の日帰り温泉施設」を目指すため、次に掲げる事業を展開していきます。